

第6回ちば講座アワード 事例調書

大多喜図書館天賞文庫

事業名	実施時期	実 績			
		実施目的	実 施 場 所	内 容	参加人数
図書館定期便	第1・3水曜日	保育園・小中学生に対する総合的な学習への対応として、保育園・小中学校と連携して図書資料を提供を図ること	みつば保育園 大多喜小学校 大多喜中学校	保育園・学校と連携し、インターネット予約資料や県内相互協力図書等を図書館職員が定期的に配達・回収を行う。	636 冊 2199 冊 24 冊
	第2・4水曜日		つぐみの森保育園 西小学校 三育中学校		364 冊 1805 冊 0 冊
小学生天賞文庫利用ランキング	4月1日～ 2月28日	小学生の図書館利用促進とWEB予約の利用普及を図ること	図書館	図書を多く利用した町内小学生(西小、大多喜小学区別)を図書館内で発表し上位10名に記念品を贈呈し称える。	400冊(大) 202冊(西) 2/16時点
親子で図書館利用ランキング	4月1日～ 2月28日	未就学児親子の図書館利用促進を図ること	図書館	図書を利用し未就学児親子(小学校区別)を図書館内で発表し上位10名に記念品を贈呈し称える。	229冊(大) 107冊(西) 2/16時点
大人のための朗読会	8/3, 8/10	中学生以上の読書活動の推進を図ること	図書館	読み聞かせボランティア「読夢の会」による大人のための朗読会 対象:中学生以上	70名
読み聞かせボランティア養成講座	5/11・18, 6/1・ 8・15・22	読み聞かせボランティアグループの育成を図ること	図書館	読み聞かせボランティアグループ「読夢の会」を対象とした朗読指導講座	8名 32名(延べ)
ボランティアの受け入れ	7月21日～ 8月23日	夏休み期間中に図書館業務を志願するボランティア活動の場を提供すること	図書館	高校生のボランティア希望者の受け入れ	9名 27名(延べ)
職場体験学習の受け入れ	11月16日～ 17日	小学生、中学生が図書館の仕事全般に体験する場を提供	図書館	中学生職場体験希望者の受け入れ	4名 8名(延べ)
職場体験学習の受け入れ	8月9日～ 17日	大多喜高等学校生徒が図書館の仕事全般に体験する場を提供	図書館	大多喜高等学校生徒職場体験希望者の受け入れ	3名 3名(延べ)
ブックスタート	毎月第1水曜日	ブックスタートは、すべての赤ちゃんのまわりで楽しくあたたかいひとときがもたれることを願い、一人ひとりの赤ちゃんに楽しい体験といっしょに絵本を手渡す活動です。	保健センター	乳幼児相談会場で赤ちゃん一人ひとりに絵本を手渡しを行う。コロナ過で健康福祉課に依頼。	23名
セカンドブック	通年	ブックスタートに続き、成長の段階にあわせた次のステップとして、3歳児を対象に2冊目の絵本をプレゼントする「セカンドブック」を開始。	図書館	3歳児検診時にセカンドブック引換券配付を健康福祉課に依頼し、親子で図書館来館を促し2冊目の絵本をプレゼントする。	1月末 8名
おはなし会	4月～7月 10月～3月	子どもと本を結びつけるため及び大人に読書への関心を持つてもらうこと	図書館	読み聞かせボランティア「読夢の会」によるおはなし会	125名(児) 107名(大)
保育園への読み聞かせ	5月～2月	幼児が絵本の楽しさと出会うきっかけづくりのため	つぐみの森保育園 みつば保育園	読み聞かせボランティア「読夢の会」による読み聞かせ	9回 9回
小学校への読み聞かせ	5月～2月	子どもの読書習慣や読書を楽しむ習慣の形成づくりのため	西小 大多喜小	読み聞かせボランティア「読夢の会」による各小学校の朝自習の時間を利用して読み聞かせを実施	13回 28回
グループホームへの読み聞かせ	月1回 中止	幅広い年齢層への読書化推進活動	風鈴花 セントケア	読み聞かせボランティア「読夢の会」による読み聞かせの実施	5回 0回

図書資料及びレファレンスの充実	通年	図書館利用者の利便性を図ること	県内図書館等	県内図書館相互協力を利用した資料の提供	705冊
図書リサイクルコーナー	通年	保存切れ等で廃棄する書籍の再利用を目的とする	図書館玄関	保存切れ等で廃棄する書籍の無償提供	3044冊
大多喜の冊子「あてら」第13号発行	2月末	地方への移住希望者に大多喜町を選んでもらえるよう、移住希望者が大多喜町に関心を持ち、風土や生活実態に関する知識を得て、職や住宅を確保し、実際に定着に至るまでの施策として、大多喜町で自分らしく働き、笑い、育む人たちの日々の暮らしを見つめ、観光ガイドとは一線を画した「大多喜で生きる」ことを記録する冊子を作成する。	町外向け	地方への移住希望者に大多喜町を選んでもらえるよう移住者の視点で、自分らしく働き・笑い・育む人々の暮らしを見つめ、観光ガイドとは一線を画した「大多喜で生きる」ことの風景を記録した冊子「あてら」を作成し、主に町外に無料配布する。 配布先：県内公立図書館90館、県外公立図書館25館、県内外書店等50店、そのほか大多喜にゆかりのある方や希望者に配布。	5000部
<u>読書おもいで帳機器導入</u>	令和4年11月～	幅広い年齢層(町内在住・在学者)の図書館利用促進と利便性の向上を図ること	図書館	図書館利用促進を目的に、貸出た資料の印字・記録ができる「読書おもいで帳」の発行 町内利用者は無料、町外利用者は一冊 300円	608冊 2/16時点
町史編さん事業	令和4年10月～ 6年11月末 期間変更予定	現在の大多喜町史は平成3年3月に発刊し、昭和の時代までの記述であり、平成の時代30年についての史実を残す事業です。		・大多喜町史(平成史)編さん業務委託 A4版 162ページ程度 1,000部納品 ・町史編さん委員会の設置 ・作業部会への資料収集依頼中	